

播磨町の自治会活動に関する実態調査 アンケート結果

2020.08
播磨町自治会連合会

【調査実施概要】

調査方法：自治会長への調査票を郵送

回収方法：各コミセンで回収

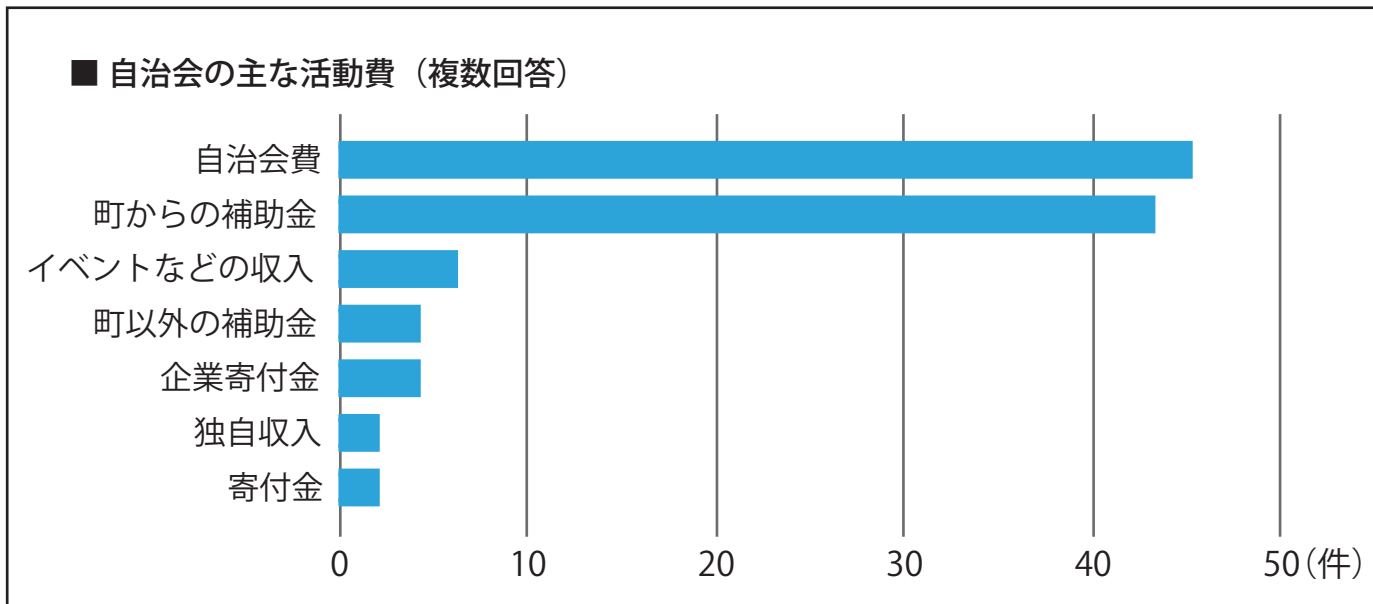
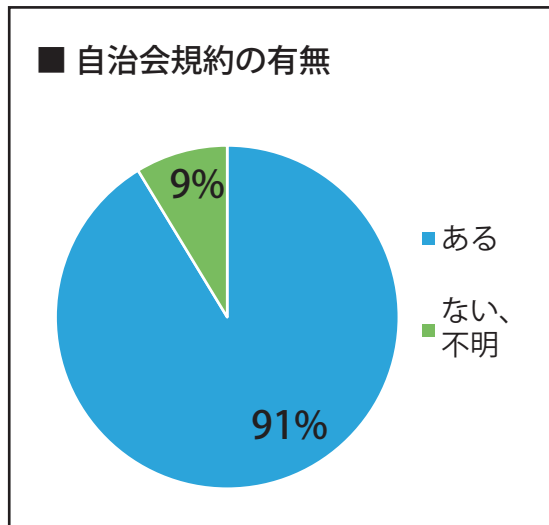
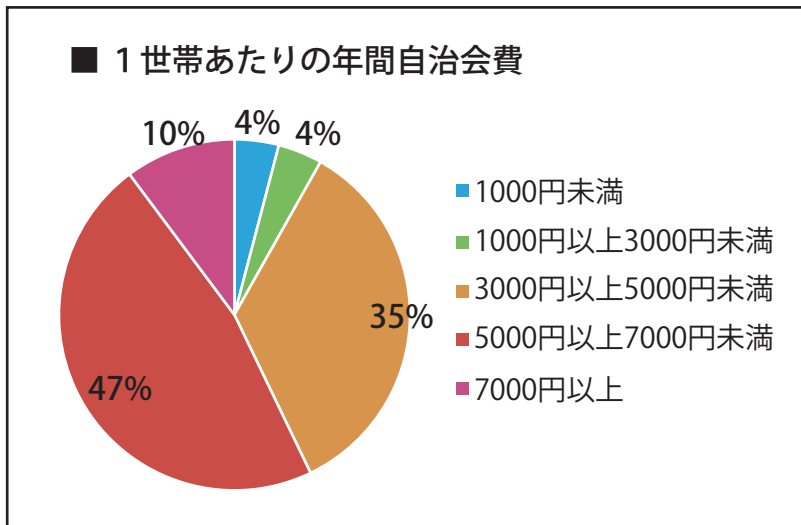
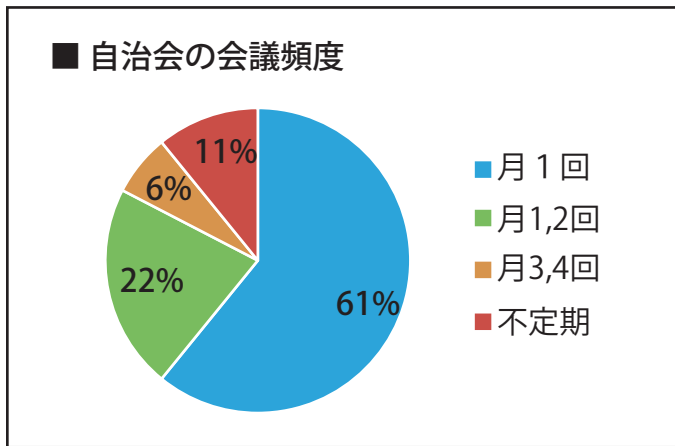
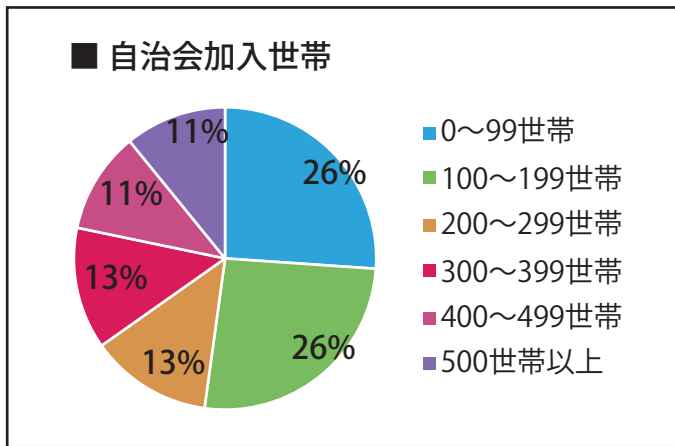
実施期間：2020.06.10～2020.07.03

配布数：46部

回収数：46部（回収率100%）

実施主体：播磨町自治会連合会

問1. 自治会について

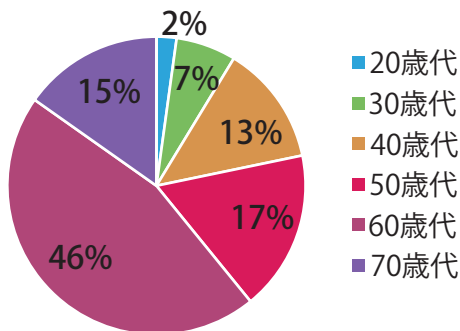


■ 自治会として連携している団体（回答の中から主なものを掲載）

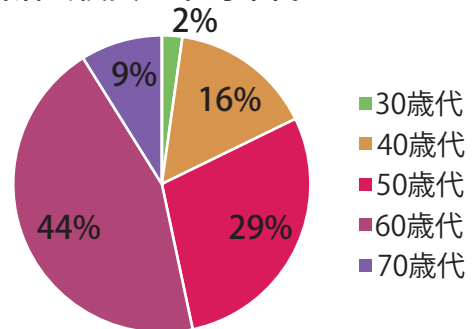
こども会 / 老人会 / 消防団 / 自主防災組織 / 連合会 / まつり実行委員会 / コミュニティ委員会 / シニアクラブ / 中学校 PTA / 連合自治会 / 女性会 / 民生児童委員 / 民生協力委員 / 防犯委員 / 水田川を守る会 / こども部 / 中学部 / 熟年部 / 催事部 / 体育文化部 / 防犯連絡所 / 社会教育推進 / いきいき 100歳体操 / 小学校 PTA / グランドゴルフ同好会 / ふれあい会 / 商店会 / いきいきサロン / 播同協 / 社会福祉協議会 / 地推委員会 / 支え合い連絡会 / 水利組合 など

問2. 自治会役員について

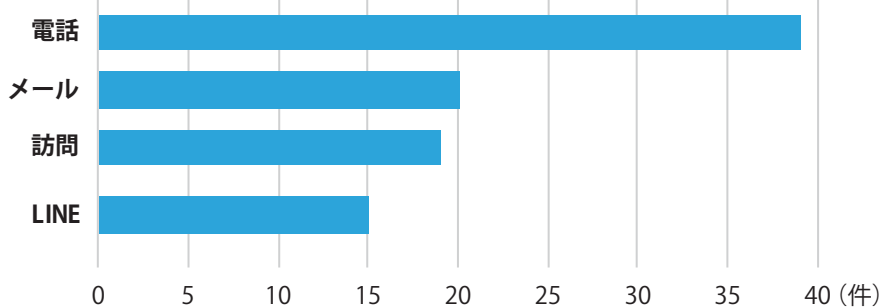
■ 自治会長の年代



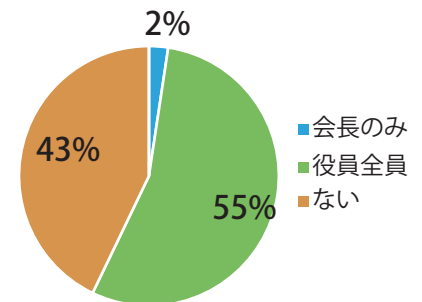
■ 自治会役員の平均年代



■ 自治会役員の連絡手段（複数回答）

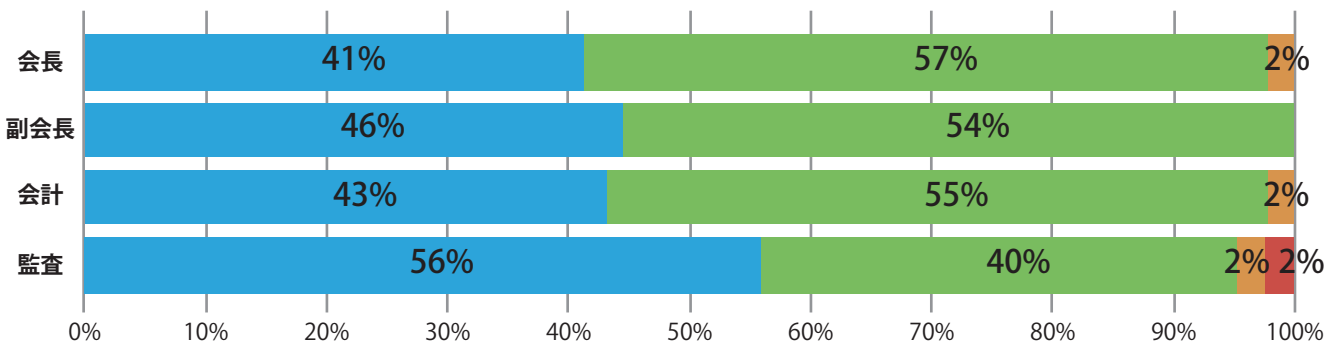


■ 自治会役員の報酬



■ 自治会役員の任期

■ 1年 ■ 2～3年 ■ それ以上 ■ 決めていない



■ 自治会役員の選出方法

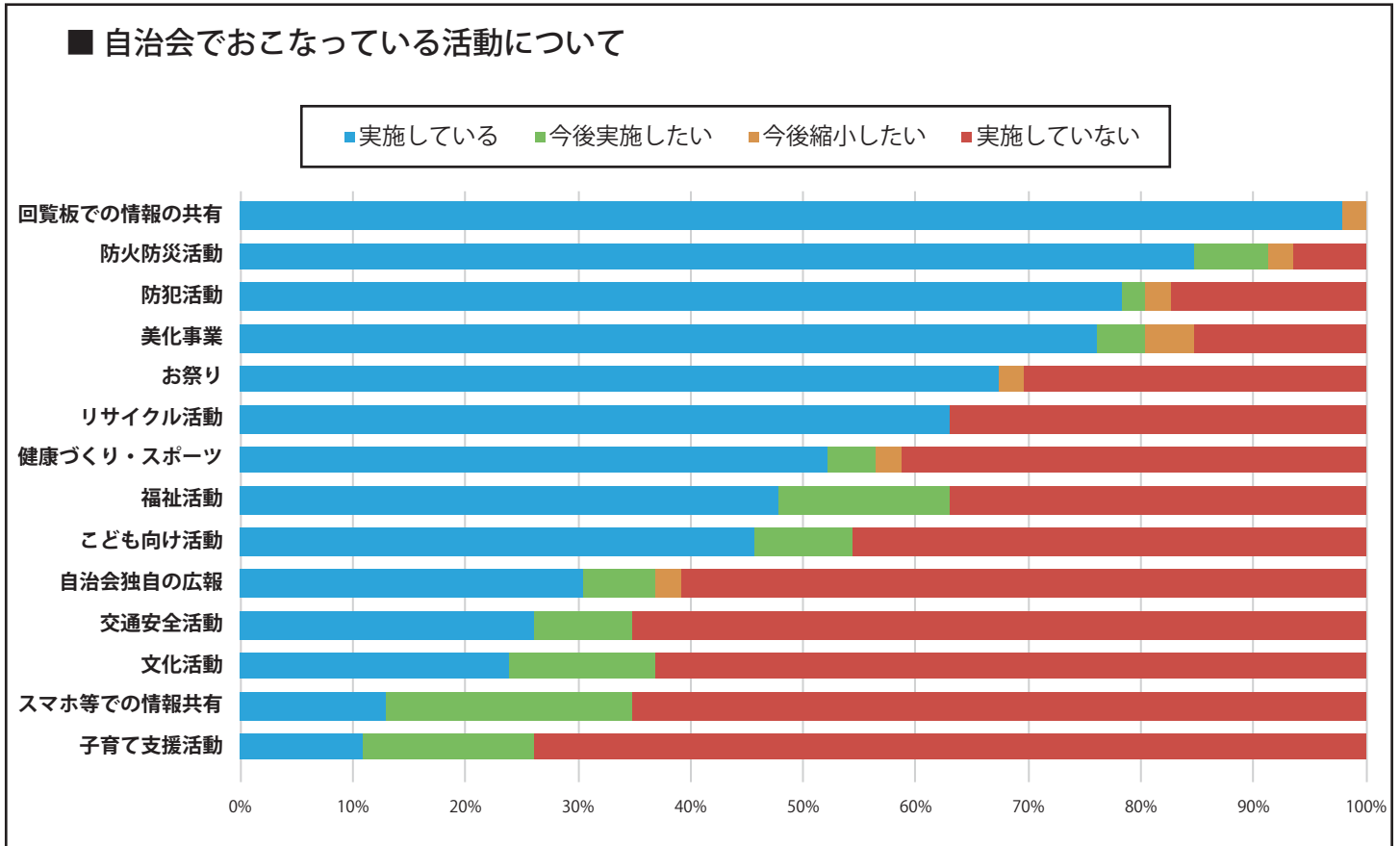
班、組から代表を選出し選挙をおこなう / 互選および選挙 / 対象となる全員の名簿と投票用紙を配布して投票 / 会長は推薦、他役員は互選 / 班から代表を出し、その中で話し合いで決める / 班から代表を出し、持ち回りで決定 / 立候補→話し合い→くじ引き（くじ引きの年が多い） / 役員はくじ / 会長を選挙で選出し、会長が副会長等を個人的に依頼

※類似の方法はまとめて掲載

■ 自治会長の担っている役割

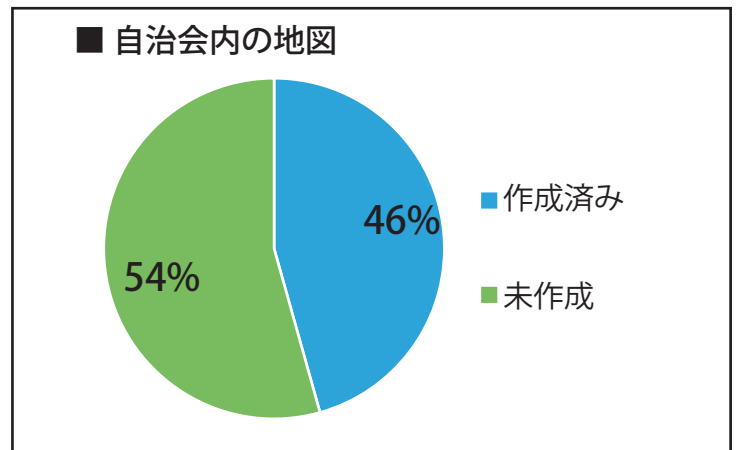
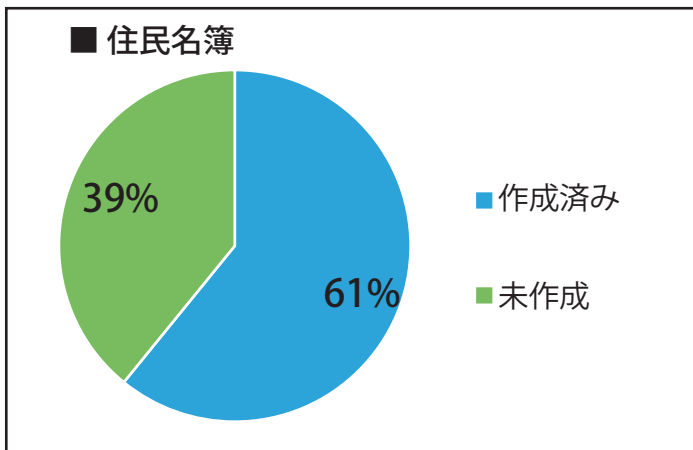
開発や工事の同意、土地境界の立会い / 葬儀参列、神社まつりごと参列 / 児童見守り隊 / 自治会の物品購入の買い出し / 町内の見回り / 各種書類の作成 / 公民館建替え工事 / 公民館周りの植樹帯剪定 / 町から来る書類が全て役員宛に来るので、それを各役員にふりわける / お金の集金、駐車場の管理、ゴミ捨て場の管理 / 役員への確認連絡、回覧板作成 / 廃品回収 / 広報配布、ゴミステーションの管理 / 他の会合 / 役員への連絡

問3. 自治会の活動について

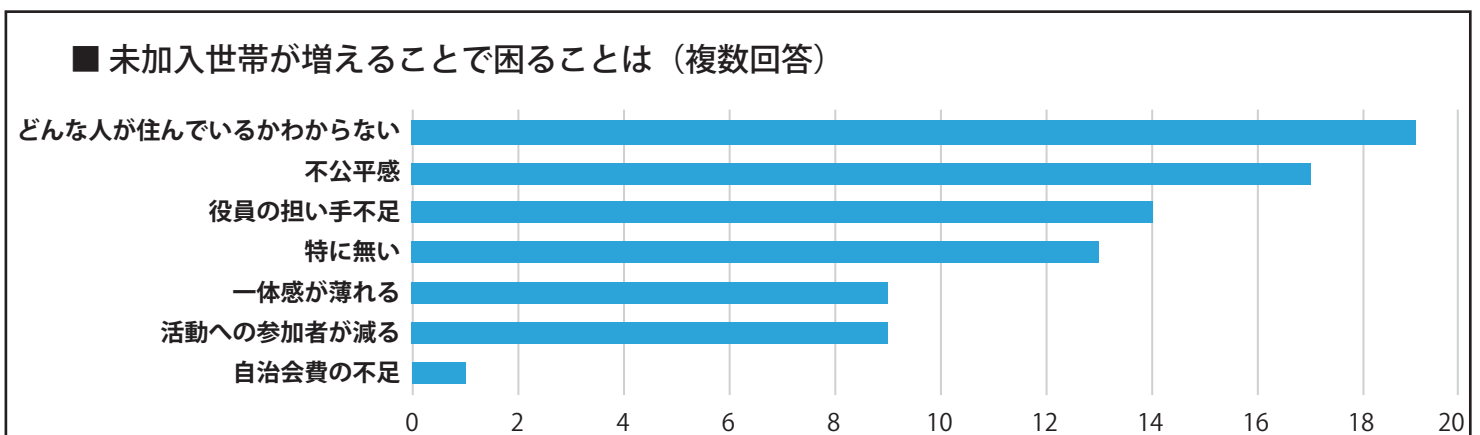
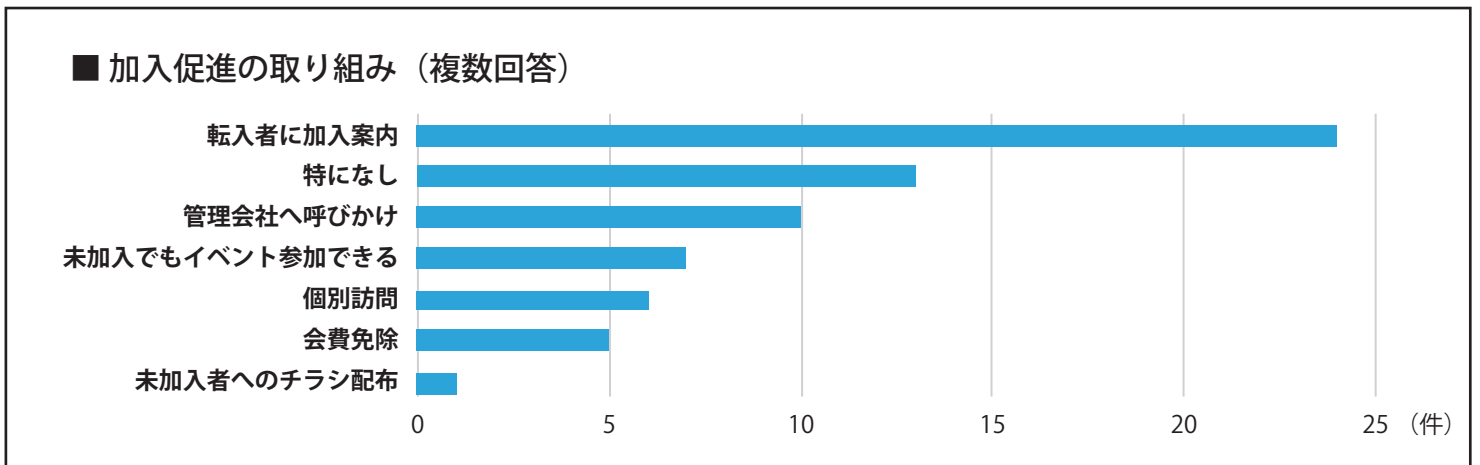
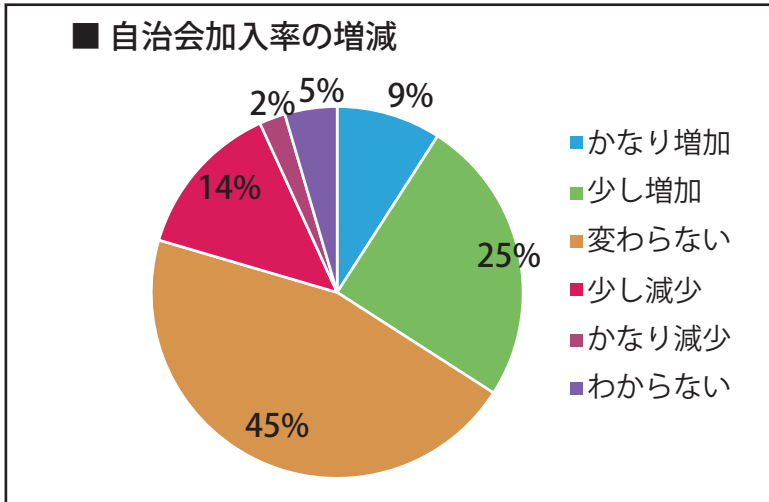


■ 他の自治会では実施していないと思われる独自の取り組み

行灯夏祭り / 納涼盆踊り / 敬老会 / 各部事業 / 防犯パトロール / 安全パトロール / こども見守り（登校時の声掛けや挨拶） / 自治会所有地の駐車場利用（賃貸） / いきいき活動の定例化と深耕化 / 空き家雑草刈り取りのため、持ち主と自治会間で宅地内立ち入りの覚書を作成。自治会にて対応可能とした。（R2年度2件） / ドリーム抽選会 / JA 食農教育支援事業の承認を受けて、家族で農業体験を募集したが、コロナウイルスの影響もあり、10 家族 37 人の申し込みであった。受付は中止として、自由参加で植え付けした。今後とうもろこし、さつまいも収穫作業を予定。収穫したさつまいもは秋祭りで品評会、神社奉納、焼き芋配布を予定 / 公民館のイルミネーション



問4. 未加入世帯について

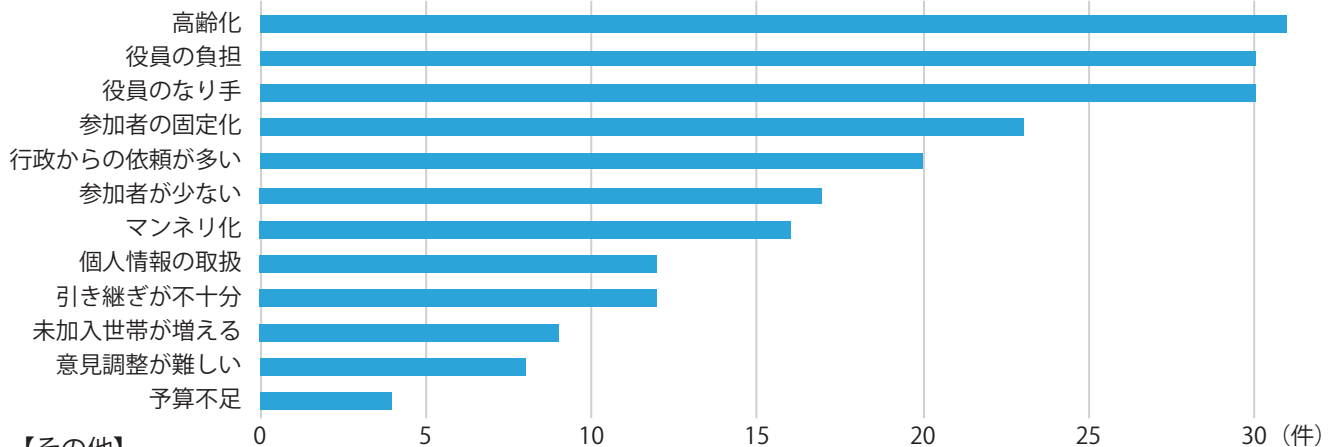


【その他】

未加入世帯なし/ワンルームマンション以外 99% 加入していただいている / 自主防災組織が機能しなくなる / ゴミの捨て方など問題がある時（特にハイツが問題） / 自治会が管理しているゴミステーションにゴミを出される / 未加入世帯は無し、非協力的家庭あり / ゴミの不法投棄 / ゴミ捨てるルールを守らない / 未加入世帯でもごみ集積所を使用できることを知り、更に未加入者が増える /

問5. これからの自治会活動について

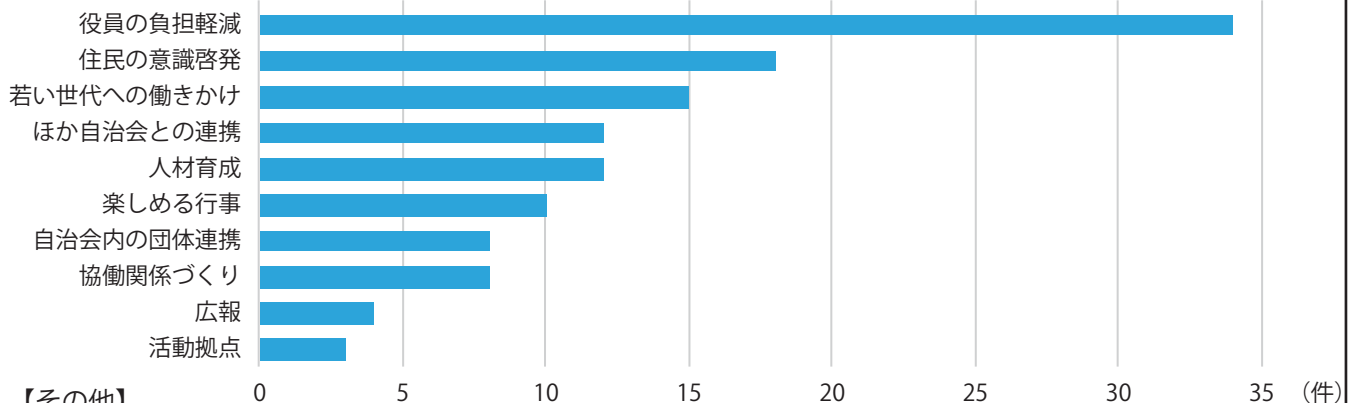
■ 自治会活動を行っていく上での課題（複数回答）



【その他】

路上駐車減少させたい / 単身の高齢者世帯の見守り訪問 / 自治会以外の会合、行事の参加 / 高齢者にもっと負担をかけない方法 / 高齢化が進んでおり、行事が減少傾向 / 募金は社協、日赤、赤い羽根など1本にならないか

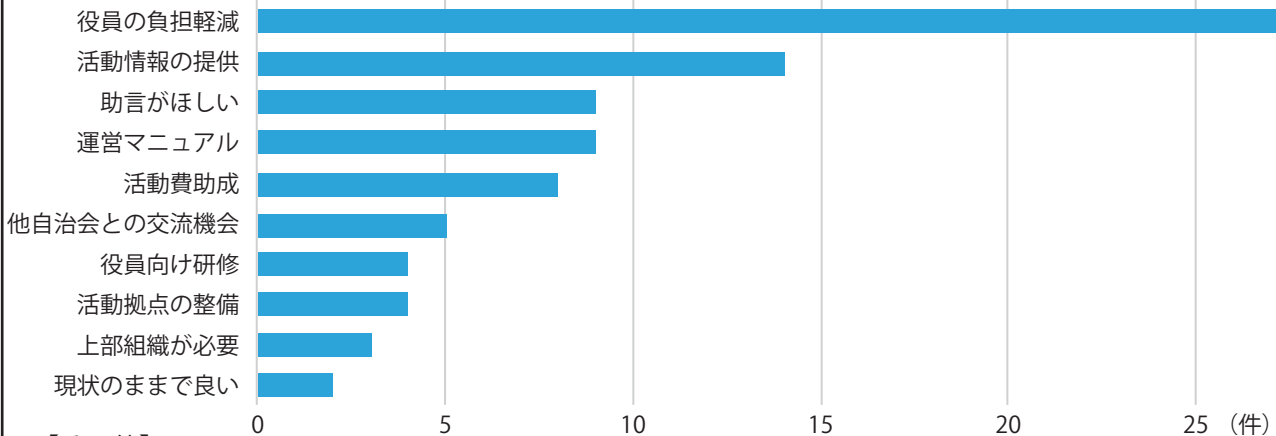
■ 課題を解決するために必要なこと（複数回答）



【その他】

共助の必要性の自覚と絆づくり / 前任者から引き継ぐときに「大変」という変な意識付けをなくす / 自治会の活動内容を知らない方が多い / 統合・廃止を検討する / 役員の定年制を導入すること / 集める側の話し合い

■ 町からどのような支援が必要か（複数回答）



【その他】

住民向けの自治会活動及び必要性のアピール、意識啓発 / 活動費助成はいらないので、各役員に毎月わずかでも固定の手当を出してほしい / 溝掃除など、自治会が業者をみつけるのではなく、播磨町が業者など決めゴミ集めすることが必要。掃除などはさせていただきます / 自治会の負担軽減をしてほしい / 高齢化している自治会の活動事例の提供 / 実績報告等を簡略化してほしい / 自治会からの意見を積極的に推進してもらいたい

■ 自治会の課題解決のために実施していること

- ・会員の方々には自治会活動についての理解を求めている。人を有する事業については、家庭を訪問し、協力を求めている。不平不満に対しては、説明し理解を求め納得してもらう。少数意見であっても役員会で提案し実行。
- ・個人的に心がけているのは「あいさつ」を大きな声でしています。すると必ず返してもらえます。人見知りをなくそうとの思いからです。支え合い連絡会では毎年役員が変わりますが、引き継ぎにより自分の班の支援の必要な人を大勢で共有できます。
- ・ゴミ置き場の不法投棄があり、防犯カメラの設置。
- ・道路に路上駐車（長時間）止められると緊急車両の迷惑にもなりますし、通行の妨げにもなりますので空き駐車場の貸し出しを自治会の駐車場管理の役員で管理してもらいます。住民は事前に連絡し（指示された番号に）停めてもらっていますが、路上駐車はなくなりません。敬老の日に70歳以上の住民に祝金を渡しています。
- ・自治会の規模が大きく、意思統一が大変なので、各地区を廃止して自治会1つにするか、自治会を解体し、各地区を独立した自治会にしたい。みんな嫌々やっているのだから、楽しくないので一度組織を作り直したい。
- ・役員会等で議題を上げ話し合いをする。
- ・高齢者の独居世帯が多いので、緊急連絡先を含めた住民名簿を任意で作成している。
- ・自治会活動は続けていかなければならない。そのためには、誰が役員をしてもやっていけるように行事などを減らしていきたい。
- ・役員選出に関する自治会規約を改定し、不公平感をなくし、自治会全体で運営していくようにした。高齢化問題は引き続き検討の余地あり。
- ・マンション住民の高齢化が進み、自治会・管理組合の役員選出が難しい。民生委員選出は次回選出時はもっと高齢化が進み、なり手不足になるだろう。
- ・自治会の存続が難しく、共益費化により、一括で集金を外部へ委託する方向で調整中。
- ・5班にわかれているが、班によっては高齢者が多いところもあり、必然的に役員を受け取る方もいる。そこで4班にわけて負担を軽減していきたい。近年、若い方たちが転居してきており若い世代が多くなったので、高齢の方々には負担をへらしていきたいので役員の定年制を導入したい（70歳がいいのか、75歳がいいのか）、他の自治体の情報が知りたい。
- ・新旧住民の混在化、宅地開発に伴う人口増により班構成の見直し、自治会組織をわかりやすくする機構の整備、役員の役割を明確化するために規約の見直しを行いたい。
- ・高齢化が進んでいるため、①月1回の資源ごみ回収時のトラックへの積み込みを業者に任せる②公園の草刈りなどを業者に委託③防災訓練を自治会内公園で実施予定（体力負荷減少）。
- ・①防犯灯の整備②防犯カメラの設置③ゴミステーションの増設④班編成の見直し⑤要支援者体制の確立
- ・高齢化にともなう、役員選出の班構成の見直し。
- ・平成13年より高齢化などの理由により班長が無理な場合は、班の世話役を選択することができるようになったが、今年よりその世話役もできない班が発生し、今回は近い班が協力する形で出発したが、この形が何年維持できるか心配なため、今年度第1回の回覧で今後の自治会全体でどのような協力体制が取れるかを認識する必要がある旨をお知らせし、お互い思いやりのある協力がいただけるようお願いした。
- ・第1、第2、第3自治会＋連合自治会と都度会合を開催し連携している。
- ・若い世代から中高年世代が一同に介する集まれる行事などを開催するためにはどのような行事があるかアンケートを実施したい。
- ・行事の見直し、役員選出の方法、会長の役割の内、自治会外のものを他の役員に振り分ける。

■ その他、自治会活動に関する意見など

- ・浜国の南側（古くからの地区）と北側の近年開発された地区の住民との交流があまりないように思う。最近では、新しい住民の比率が上回ってきているので、自治会活動を通じて、新旧の垣根を少しずつ取り除きたいと思っています。
- ・自治会または自治会長に一任する事項が多い。
- ・活動の参加者が固定しています。若い世代への参加者の働きかけが必要ですが、難しい現状です。共働きの方が増え、家族単位の活動を好み、地域意識があまりないように思われます。なにか方法はないか思案中です。
- ・他の自治会は、単身高齢者の見守りや訪問をどのようにされているのか、自治会の活動も役員と仕事の両立をしながらな役員が多いので、見守りや訪問ができていない状態です。ご意見やアドバイスしてほしいです。
- ・①役場への提出物を電子申請で対応してほしい②自治会会員に対しての回覧をスマホで伝えるシステムを運用してほしい。
- ・正直に言うと、今のあり方は負担と感じる人が多いと思う。いっそのこと役場の下部組織にして報酬を出せばやりたがる高齢者やフリーランスの人はそれなりにいると思う。なんにせよ大幅な改革が必要な時期に来ていると思う。
- ・仕事中に役場から携帯に電話がかかってくるが、時間帯など考えていただけるとありがたいのですが。
- ・活動や運営に対する研修、助言がほしい。
- ・会長のやる事が多くてすごく負担。
- ・一軒家の方は入居率は高いのですが、ハイツの方がその場所によってバラバラです。播磨町全体でハイツの方の自治会活動を一定ライン決めていただけたら、とても助かります。自治会に入らなくてもゴミは捨てる。ゴミ場の管理や問題がおきると自治会が対応しないといけないなど不公平が起きています。
- ・個人的な意見ですが、自治会活動は必ず活性化させる方向に向かないといけないのでしょうか。わたしたちの自治会は現状では存続させるために必要なことを考えたほうが良いように思えます。体力的に難しくなった高齢者や時間の都合を付けにくい一人暮らしの人や他人と関わりたくない若い世代の人でも役員に成り活動できるくらいに活動内容を絞るという方向もあってよいと思います。あくまでも個人的な考えです。
- ・行政からの自治会に対する依頼、協力事項などが多すぎる。これが役員になりたがらない大きな原因です。
- ・毎年持ち回りで自治会役員をしていますので、引き継ぎなどで不具合などがよく出ると思います。私自身も仕事の都合上、なかなか活動に参加する時間も取りにくいです。高齢化に伴い、活動しにくいという意見も出ている。
- ・夏祭り、どんと祭りなど、長い時間活動することが難しい、高齢の方が役員のメンバーにいと、残りの役員でフォローし合うのにも限界があります。
- ・花壇の水やり方法（輪番制）→新たな方法枯れにくい花の選定。
- ・近隣住民のトラブル、ごみ処理トラブル対応で時間を費やすことが多く、本来の自治会活動と違う方向に向いている感がある。自治会長の担い手がいない。
- ・「広い世代が住みやすい地域を」と目指すには、町との協働関係が大切になってくると思うのですが、最近数少ない転入者の方には自治会が行政の末端機構としての役割を担っているということが理解されないため、そこからの説明が必要になってくる。いろいろな経験が自己啓発につながって暮らしやすい自治会に成長して欲しいものと願っています。
- ・①公民館予定地の有効活用をどうするか悩んでいる②小学校の通学路をいつまで中学校の中を通るようにするのか③ゴミステーション付近にカーブミラーを付けたいと思っている。
- ・自治会活動には自治会内の行事や課題に関するものと行政サービスの末端として行われるもの（配布、回収、環境整備など）があり、後者についても一概に否定するものではない。しかしながら、昨今「地域づくり」「コミュニティ育成」ということで、各自治会での行事や活用よりも委員会や協議会と言った組織を立ち上げ、自治会の代表、コミセンの代表という形で行政主導の活動が多くなっており、自治会にとっては大きな負担となっている。そのことが自治会活動から人々の心を遠ざけるという逆効果になっていると思う。町からの支援に一番期待することは、「なるべく自治会内の活動に専念させてもらいたい」ということです。